

# 緑の相談所たより

◆ 尼崎市都市緑化植物園 緑の相談所  
◆ 中央公園パークセンター 緑の相談所

2,3月号 No.348

2014年2月1日発行

りっしゅん  
立春(2月4日)

うすい  
雨水(2月19日)

立春 節分の翌日にあたり、暦の上では春となります。立春を過ぎて初めて吹く南寄りの強い風が「春一番」です。雨水とは、積もっていた雪や氷が解け始める時節のこと。農耕の準備をはじめると目安とされてきました。

けいちつ  
啓蟄(3月6日)

しゅんぶん  
春分(3月21日)

啓蟄とは、冬ごもりしていた虫が陽気に誘われて這い出てくる頃、という意味。春分とは、太陽が真東からのぼり真西に沈み、昼夜の長さがほぼ同じになる日のこと。春分の日を中日に、前後三日を含めた七日間が春のお彼岸となります。

## 古典と植物 vol.6

人はいさ 心も知らず ふるさとは

花ぞ昔の 香ににはひける 【紀貫之】

まだまだ寒い季節ですが、暦の上では春がやってきました。2月の声が聞こえると、寂しかった木々にも、変化が見えてきます。ウメ、ロウバイ等が春寒の中でも凜とした姿で咲き始め、3月になると、ユキヤナギ、トサミズキ、下旬にもなると、サクラ、モモ、モクレンと、一気に春めいてきます。

この歌の「花」は、そんな浅春の中で咲く「梅」を指します。移ろいやすい人の心と、春の到来とともに忘れることなく花を咲かせる梅の花の香しさを対照的にとらえた、紀貫之の有名な歌ですね。

一方、下の歌の「花」は、春爛漫の頃に咲く「桜」を指します。のどかな春の日と、あわただしく散る桜の花を、こちらも対照的にとらえた歌です。

ちなみに紀友則は、紀貫之の従兄弟にあたります。



ひさかたの 光のどけき 春の日に

静心なく 花の散るらむ 【紀友則】



2月3月は、二十四節気の七十二候にも、春めいた言葉がたくさん並びます。例えば雨水の末候は、「草木萌動：そうもくもえいずる(うごく)」、啓蟄の次候は、「桃始笑：ももはじめてさく(わらう)」、春分の次候は「桜始開：さくら はじめてひらく」。その字面を見ただけで、思わず微笑んでしまいますね。「桃始笑」の「笑」を「さく」と読むのは、昔は花が咲くことを「笑う」と言っていたからだそうです。

みなさんも、公園に春を探しに出てみませんか。写真の梅と桜は、近松公園のもので。その他、当協会が管理している上坂部西公園、元浜緑地、宮内公園、西武庫公園等でも、梅や桜をはじめ、様々な春色を纏った植物を楽しむことができます。上坂部西公園には、緑の相談所もございまして、園芸相談等お気軽にご利用下さい。

## 尼崎市立成良中学校 中岡 禎雄 先生

今回は、「植物」より、もっと視野を広げて「環境」をテーマとし、環境教育に熱く取り組んでおられる尼崎市立成良中学校・主幹教諭 中岡禎雄先生をご紹介します。



### ◇「命の尊さ」を教えたい

いまの中岡先生の原点をつくる出来事がありました。平成7年に起こった阪神淡路大震災です。当時勤務していた園田東中学校が、避難場所となっていたこと。瓦礫を掻き分け人命救助のボランティアに携わったこと。そこで見た生と死。いじめや自殺等 様々な問題を抱えている現代社会。子供たちに「命の尊さ」を教えたい。自分達の生きていく地域環境を改善したい。命とふれあうチャンスを生徒たちに与えたい。震災を通して、そのような気持ちが、中岡先生の中に芽生えました。



△生まれたばかりのヤマガラスの雛

### ◇きっかけは、ひとつの巣箱から

六甲山に住む友人からたまたま声をかけられ、生徒数人と巣箱を作り、六甲山に巣箱を掛けました。平成14年の4月のことでした。ヤマガラスが卵を産み、雛が孵り、巣立って行くさま

を、生徒達と観察することが出来ました。小さな命のドラマです。そこで、今度は尼崎でも巣箱を掛けてみることにしました。1年目は営巣せず、2年目に卵を産みましたが、雛は孵りませんでした。巣箱を調べてみると、山の巣箱では、柔らかな苔や藁等を巣材にしていたのに、都会の尼崎の巣材には、ビニールやお菓子の包装紙等が使われていました。小さな巣箱の中が、環境を知るバロメーターになっていたのです。これらの取り組みがきっかけで、生徒が環境改善に取り組むことを目的とした「ネイチャークラブ」が発足します。その後、観察活動は長野県の本曾駒高原や、滋賀県朽木村、徳島県上勝町等全国へ広がり、一番多い年では、60ヶ所に巣箱を掛けることもあったそうです。当協会が管理している、上坂部西公園や元浜緑地でも、観察が行われました。その後、活動は地域を流れる庄下川の清掃活動、緑化活動へと広がり、屋上緑化も始まります。当協会も、屋上緑化の軽量土や屋上で育つ植物等のアドバイスをさせて頂きました。今では季節に合わせた花々や、野菜、果樹等が見事に育てられています。

### ◇ホースセラピー

平成19年から始まった取り組みにホースセラピーがあります。全校生徒が参加し、この日は1日お馬さんの日です。馬を撫で、ブラッシングし、聴診器で馬の内臓の音を聴いたり、乗馬体験をして過ごします。馬に触れることにより、情緒が安定し、命のぬくもりを体感します。問題行動の件数が減少したり、不登校の生徒が登校意欲を示したり等の成果が見られているそうです。



△ホースセラピーの様子

### ◇循環型社会の構築をめざして

尼崎港や運河の過剰な栄養塩で繁殖した藻類や貝類などの生物を、死んでヘドロ化する前に取り上げ、校内で集めた落ち葉と米糠で堆肥化する。また、ソーラーパネルによる太陽光発電で、生ゴミ処理機を動かし、生ゴミ堆肥を作る。その堆肥を、屋上緑化で行っている野菜作り等に利用。そこで取れた野菜を収穫祭として調理してみんなで食べる。また、堆肥を用いて栽培した綿や菜の花の種から油をとり、堆肥を用いて栽培したアマイモを天ぷらや大学芋に調理して食べる。調理の時に利用した油を精製し、バイオディーゼル燃料とし、車を走らせる。全てが見事なまでに「循環」しています。このような取り組みを、大学や環境団体、専門家、企業、地域等との協力体制を組み、行っています。五感を通してこのような活動を体験した生徒達は、何を思い、何を考えることでしょうか。

### ◇尼崎から世界へ

平成25年10月30日～11月1日にかけて、「第10回世界閉鎖性海域環境保全会議(EMEC10)」がトルコで開催されました。この会議に成良中学校で3年間、尼崎運河の水質浄化や「命の循環」に取り組んだ卒業生の女の子が参加し、英語でプレゼンテーションを行いました。現在は兵庫県立国際高等学校に通う山本仁湖さんです。中岡先生も同席されたので喜びも一入だったことでしょう。開会式で基調講演を行ったオランダのフランク・ミュレン博士が、中岡先生と山本さんにかけて下さったという言葉が大変印象的でしたので、最後に紹介させて頂きたいと思います。「尼崎の取り組みは、多くの立場や世代の人々が力を合わせて取り組んでいることが素晴らしい。オランダでも素晴らしい取り組みはあるが、個人主義になりすぎていて、みんなで協働して取り組むことが難しい。尼崎の取り組みを、オランダは学ばなければならない。」

中岡先生の思いをしょって、尼崎から世界へ羽ばたく子供たちが、たくさんできそうです。

## 鳥撮



うぐいすなく 鶯鶯睨睨

二十四節気の「立春」の次候で、ウグイスが美しく鳴きはじめる頃という意味。(2月9日～13日頃)

※写真の鳥は、メジロです！

### メジロ(目白)とウグイス(鶯)

「梅に鶯」という言葉がありますが、この頃梅の花にとまっている姿をよく見かけるのは、ウグイスよりもメジロのほうが圧倒的に多いですね。混同されやすいですが、メジロは、目の周りが白くふちどられているのが特徴。身体の色は写真のように美しい黄緑が目立ちます。一方、ウグイスは、もっと濃い灰褐色のような色をしています。チーチーと鳴き交わし、よく姿が見られるメジロと違って、ウグイスは、おなじみのホーホケキョと美しい声で囀るものの、警戒心が強いので、なかなか姿を見せられません。(残念ながら、写真も撮れませんでした。)ウグイスは、春告鳥とも呼ばれます。

↑上坂部西公園他さまざまな公園で見ることができます。

## 虫撮

写真提供：伊丹市昆虫館



なむしちゆうとなる 菜虫化蝶

二十四節気の「啓蟄」の末候で、冬を越した蛹が羽化し蝶に変わる頃という意味。(3月16日～20日頃)

### モンシロチョウ(紋白蝶)

春になると、畑や河川敷等でよく見かける蝶です。白い翅に黒い紋が入ります。幼虫の食草は、キャベツやハクサイなどアブラナ科植物です。ですので、園芸好きのみなさんにとっては、にくい害虫という人もいることでしょう。成虫の蝶になってからは、タンポポやアザミなどの花の蜜を吸います。モンシロチョウの姿は、3月下旬～11月頃まで見られます。

蝶は、「夢虫」「夢見鳥」とも呼ばれます。ゆらゆらと儂げで、幻想的なイメージがありますよね。

トクサ科 トクサ属

「ツクシ誰の子 スギナの子」という言葉があります。ツクシとスギナは、全く別の植物に見えますが、同じ植物で、ツクシはスギナの胞子茎になります。地下茎が長く横に走っていて、節から地上茎を出します。地上茎は、2種類あり、ひとつはスギナ(栄養茎)で草丈30~40cm。杉の細い葉のような形をしていることから、スギナ(杉菜)という名がつけました。そして、もうひとつが、春に顔を出すツクシ(胞子茎)というわけです。

ツクシは、山菜としてお浸しや天ぷらなどにして食べることができます。(袴の部分は取り、お浸しの場合は灰汁抜きが必要。)アルカロイドを含むため、多食はしないほうがいいようです。また、栄養茎であるスギナは、間荆(モンケイ)と呼ばれる生薬で、利尿、解熱作用等があることで知られます。

日本各地の畑の隅や道端、市街地の空き地等の日当たりのよい場所に見られますが、最近はその姿を見かけることが少なくなったように思います。上坂部西公園の温室の前や、上坂部川沿いでも見ることができます。公園の中ですので、ツクシは取ったりせず、見て楽しんでください。



◆害虫と対策◆vol.4

チャドクガ

写真提供：住友化学園芸株式会社

庭や公園によく植えられているツバキ、サザンカの害虫で、葉を食害するだけでなく刺毛にふれるとかぶれるので厄介です。卵の状態では葉裏や枝上で越冬し、年2回発生します。幼虫は4~6月と7~9月に発生し、若い幼虫は頭をそろえて並んでいます。



成長した幼虫は長さが25mm、全体黄褐色で胴に黒いコブが数列あり、長い刺毛を出しています。老熟すると木全体に散らばって葉を食べますから放っておくと丸裸になってしまいます。成虫は7~8月と9~10月に発生する長さ12mmの黄色のガで刺毛があり、やはり、触るとかゆく、かぶれます。3月末頃から葉の裏側を調べて、幼虫を見つけたら葉を切り取って焼き捨てます。発生が多いときは、早めにオルトラン液剤1000倍液、ペニカファインスプレーなどをまんべんなく散布します。刺毛にふれないように手袋をするなどの注意をしてください。

サボテン\*多肉植物

クイズ

Vol.4

「ガステリア」という多肉植物の名前の由来となったのは、次のうちどれでしょう？  
(ヒント：花の形を見てね)



- ①金魚
- ②タコ
- ③胃

(答えは、最終頁の一番下を見てください。)

この植物は、尼崎市都市緑化植物園温室で見ることができます。

花と緑の伝言板

2014 あまがさきフラワーガーデニングコンテスト  
参加者募集のお知らせ

応募部門

- (A) 家庭緑化部門→公共道路に面した家庭の庭先、フェンス、ベランダなどに設置された花壇
- (B) コミュニティ緑化部門→地域の住民グループによる集合住宅の共有空間、公園、道路植樹帯、河川沿い、公共施設、事業所等の施設やその周辺に設置された花壇
- (C) 学校緑化部門→学校、幼稚園、保育所等の敷地内やその周辺に設置された花壇

応募対象花壇

市内に在住又在勤の個人又は団体がつくる、市内の一般に公開された場所(道路沿い、公園等)に設置された春花壇で、道行く人が楽しめることが条件。但し、学校部門については敷地内に設置された花壇も対象とします。

※注意：道路側溝等公有地にはみだしている花壇は応募対象になりません。

応募方法

\*所定の応募用紙に必要事項を記入し、下記の応募先まで郵送(FAXは不可)、又は持参して下さい。応募用紙は、上坂部西公園及び中央公園パークセンターの緑の相談所、尼崎市役所公園課、各支所の地域振興センター及び各サービスセンターに、2月下旬から用意しています。

\*自薦、他薦(必ず本人の了解が必要)は問いません。

応募期間

平成26年3月1日(土)~22日(土) 【※22日の消印有効】

応募先・詳細問合せ先

〒660-0884 尼崎市神田中通1-4 中央公園パークセンター緑の相談所  
「2014あまがさきフラワーガーデニングコンテスト」係  
電話：06-6411-8714 (担当：大家)  
休館日：水、木曜日・祝日

※審査予定日は、平成26年4月6日(日)~7日(月)です。

展示会 開催時間 10:00~16:00

展示会名	日時	開催場所
上坂部西公園で見られる椿・桜展	2月9日(日)~3月2日(日)	緑の相談所
クリスマスローズと原種シクラメン展	3月1日(土)~3月9日(日)	温室
碧祥展と生徒さんの作品展(碧祥の山草鉢と、2/15「陶芸教室」の生徒作品を併せて展示)	3月14日(金)~3月16日(日)	緑の相談所



▲碧祥展の様子

講習会

講習内容	日時	講師	備考
小品盆栽 葉グミの葉刈り、盆栽用土の準備他	2月8日(土)13:30~15:30	尼崎小品盆栽山草会 会員	(申込不要)
センスアップ講座⑥ はじめてのプリザーブドフラワー「春色をたのしもう」	2月9日(日)13:30~15:30	山口小夜子	★申込必要 定員:20名 費用:2,000円
陶芸教室 山草鉢づくり	2月15日(土)13:30~15:30	筒井敏勝(兼元:碧祥)	★申込必要 定員:15名 費用:1,500円
皐月盆栽 整形(新木の植え付け)	2月16日(日)13:30~15:30	尼崎皐月協会 小笠原幸雄	(申込不要)
ママちゃんクラブⅡ 「寄せ植えの空中ブランコ」	2月21日(金)10:00~11:30	(公財)尼崎緑化公園協会 野中勝子	★申込必要 定員:20名 費用:2,000円
THE園芸教室⑤ ~クリスマスローズ~魅惑のクリスマスローズの育て方(鉢花付)	2月23日(日)10:00~12:00	(公財)尼崎緑化公園協会 宮内和之	★申込必要 定員:20名 費用:2,000円
小品盆栽 雑木盆栽の植え替え	3月8日(土)13:30~15:30	尼崎小品盆栽山草会 会員	(申込不要)
皐月盆栽 植え替え	3月9日(日)13:30~15:30	尼崎皐月協会 藤井照夫	(申込不要)
THE園芸教室⑥ ~椿~ 園内に咲く椿の花を見た後、挿し木に挑戦してみよう	3月15日(土)13:30~15:30	(公財)尼崎緑化公園協会 小椋孝	★申込必要 定員:20名 費用:600円
セッコクの植え付け	3月22日(土)13:30~15:30	尼崎小品盆栽山草会 松本昌信	★申込必要 定員:15名 費用:1,500円
菊作り① 培養土・肥料の作り方、苗の準備	3月16日(日)13:30~15:30	(一社)全日本菊花鑑賞会理事 保田三千男	(申込不要)

※有料講習会のキャンセルは1週間前まで。それ以降は材料の引き取りをお願いします。

※講習会のお申し込みの際には、持参品の確認をお願いします。

展示会 開催時間 10:00~16:00

展示会名	日時	開催場所
市民の洋ラン展	1月31日(金)~2月2日(日)	緑の相談所
早咲き椿展	2月16日(日)	緑の相談所
クリスマスローズ展	2月21日(金)~2月24日(月)	緑の相談所
2013フラワーガーデニングコンテスト入賞花壇写真展	3月7日(金)~3月16日(日)	緑の相談所
春の椿展	3月29日(土)~3月30日(日)	緑の相談所



▲洋ラン展の様子

講習会

講習内容	日時	講師	備考
寄せ植え教室④ クリスマスローズを中心に寄せ植え	2月23日(日)13:30~15:30	(公財)尼崎緑化公園協会 職員	★申込必要 定員:10名 費用:3,000円
フラワーアレンジ教室④	3月8日(土)13:30~15:30	ローゼンバルト 西村良子	★申込必要 定員:10名 費用:2,500円

※有料講習会のキャンセルは1週間前まで。それ以降は材料の引き取りをお願いします。

※講習会のお申し込みの際には、持参品の確認をお願いします。



「ひと咲き まち咲き あまがさき」

新しい「尼崎市総合計画」に基づくまちづくりのキャッチフレーズです。緑化公園協会は、花と緑で、ひととまちをいっしょに育てます。

◆ 尼崎市都市緑化植物園(上坂部西公園) 緑の相談所

☎661-0011 尼崎市東塚口町2-2-1 ☎(fax同) 06-6426-4022  
 公園開園時間:4~9月6:00~21:00 10~3月6:00~18:00(年中無休)  
 相談所開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)  
 園芸相談時間:10:00~12:00 13:00~16:00 ☎06-6426-7500  
 温室開館時間:10:00~16:00  
 休館日:火曜、水曜、祝日(GWを除く)、年末年始  
 いずれもご利用は無料です。

講習会等のお申込、お問い合わせはこちらへ

お電話でのご相談の場合はこちらへ

JR塚口駅 西南へ徒歩5分  
 阪急塚口駅 東南へ徒歩15分  
 市バス、阪急バスともに「ピッコロシアター」バス停下車 南東へ徒歩1分



◆ 中央公園パークセンター 緑の相談所

☎660-0884 尼崎市神田中通1-4 ☎(fax同) 06-6411-8714  
 相談所開館時間:9:00~17:00(入館は16:30まで)  
 園芸相談時間:10:00~12:00 13:00~16:00 ☎06-6411-8739  
 休館日:水曜、木曜、祝日(GWを除く)、年末年始  
 いずれもご利用は無料です。

講習会等のお申込、お問い合わせはこちらへ

お電話でのご相談の場合はこちらへ

阪神尼崎駅 北へ徒歩1分



[編集:発行] 尼崎緑化公園協会 URL: http://www.amaryoku.or.jp/  
 ☎661-0979 尼崎市上坂部2-1-9 ☎06-6494-9046 fax06-6494-9049

クイズの答え:正解は③の胃です。ガステリアは、胃を表すギリシャ語のgasterが語源。写真は、ガステリアの「墨鉾(すみほこ)」という品種です。